

2018.08.27

## InterRisk Thai Flood Report <2018 No.6>

### タイの洪水関連情報

#### 概要

- ✓ タイ南部 (Phuket、Pang Nga) および北部 (Chiang Mai) で降雨量が増加しています。
- ✓ タイ全土に位置する大型ダム (35 基) の合計貯水量は貯水容量の 73%に達しています。
- ✓ 南部の Petchbuir 川は Kang Krachan ダムからの放水の影響で水位が上がり、一部で越水による洪水が発生しています。
- ✓ 北東部のイサーン地方では Khong 川の水位が上昇し、排水設備からの逆流により市街地へ水が流入しています。
- ✓ 以下の地域で大雨、洪水が警戒されています。

北部：Nan／北東部：Nong Khai、Bueng Kan、Nakhon Phanom、Sakolnakorn／東部：Chantaburi、Trat  
 ／南部：Ranong、Pang Nga、Krabi、Phuket、Trang、Satul

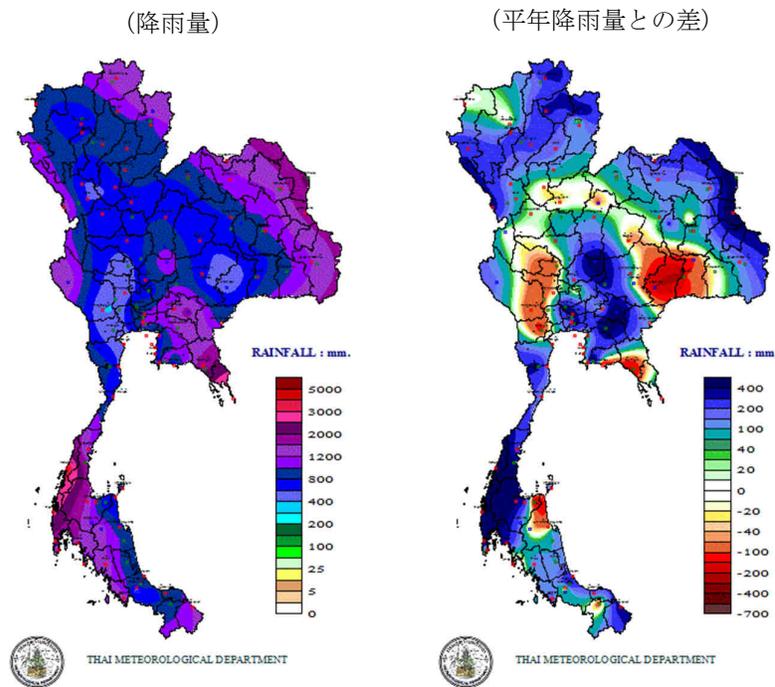


図 2018 年 1 月 1 日～8 月 22 日までの合計降雨量

#### 今後の気象予測

- ✓ 9 月も引き続き降雨量が多くなる見込みです。
- ✓ 特にタイ中央部、東部は、アンダマン海からの南西季節風の影響で降雨量が増加し、河川水位の上昇、鉄砲水の発生が懸念されます。

## 洪水関連情報

August 2018

18

✓ 王立灌漑局（Royal Irrigation Department :RID）が Nan を中心とする北部の各県と協力して、豪雨に見舞われた地域に対して救援のための人員や物資を供給。

19

✓ タイ北部の Mae Hong Sorn で 18 日夜に発生した豪雨により河川の水位が上昇、越水し、Muang 地方の村が浸水。  
✓ 熱帯低気圧の影響により、タイ北部の Jun 川が氾濫し、Nuan Jun 市場近くの市街地が浸水。

20

✓ タイ北東部の Nong Khai で河川の水位が上昇、越水し、Thai-Lao Friendship 橋近くの住宅地が浸水。

21

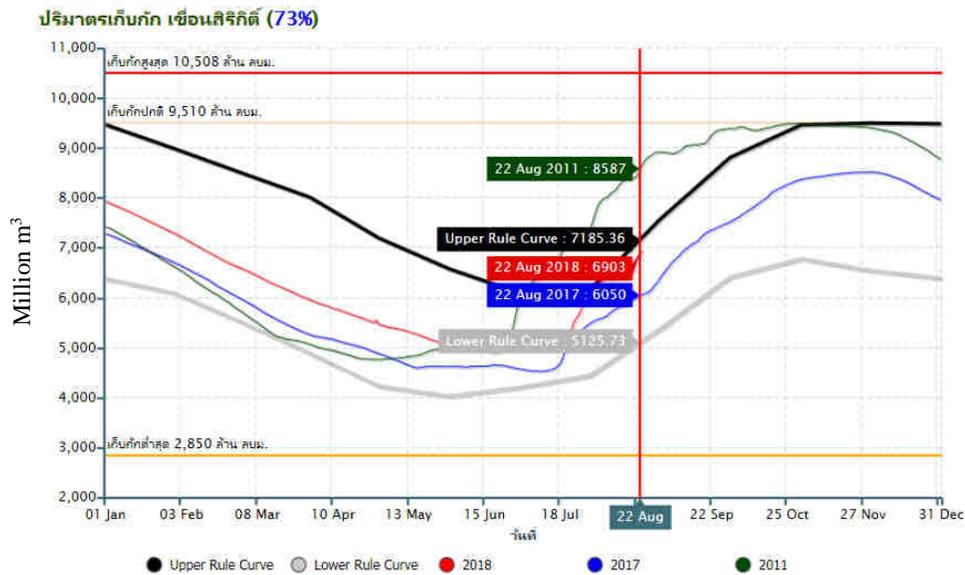
✓ RID はタイ南部に位置する Ta Now Sri 山周辺の降雨量が減少し、Kang Krachan ダムの貯水量が改善する見込みであることを発表。ただし今後も警戒は継続する。  
✓ タイ防災減災局（Department of Disaster Prevention and Mitigation）が、北部の Nan、Payao、Chiang Rai、北東部の Petchboon、Nong Kai、Bueng Kan、Kalasin、Nakhon Panom、東部の Ubon Ratchathani および南部の Petchburi が、熱帯低気圧による影響で洪水の危険性が高いと発表。

22

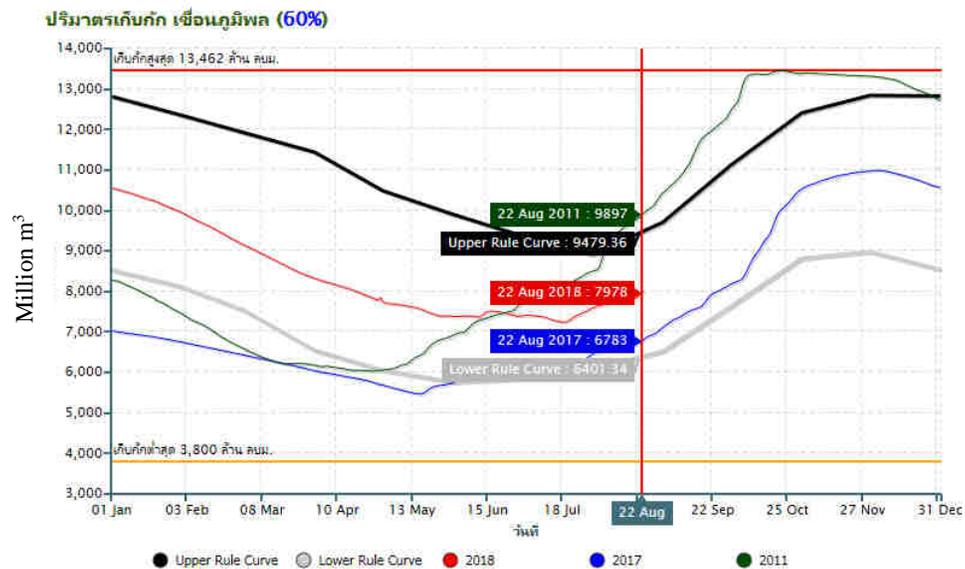
✓ タイ南部の Petchburi で洪水により道路が 10～13cm 冠水。Kang Krachan ダムの貯水率は 108.94%。  
✓ タイ南部の Satul で豪雨により Kuangalong、Ta Pae、La Ngu 地方の村が浸水。

ダム貯水量 (Sirikit ダム、Bhumibol ダム : 2011 年、2017 年との比較)

貯水量 : Sirikit ダム



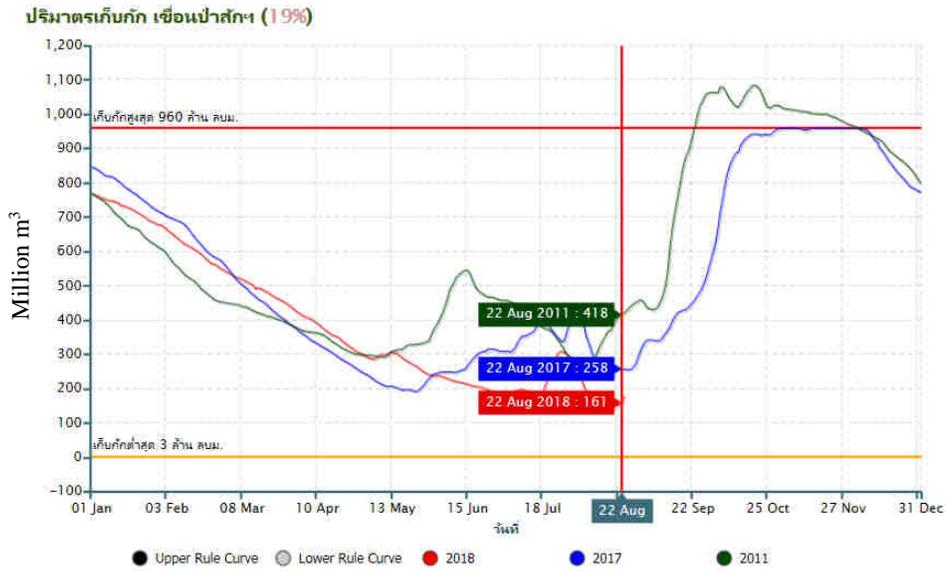
貯水量 : Bhumibol ダム



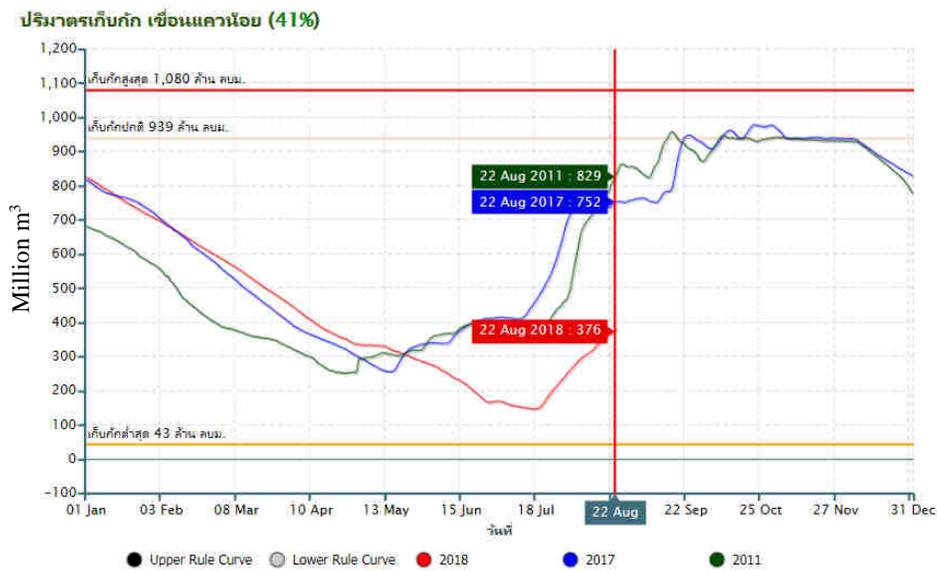
Sirikit ダム、Bhumibol ダムともに貯水量は昨年の同時期より多いものの大洪水が発生した 2011 年より少ない状況です。貯水容量に対してはまだ余裕がありますが、今後の貯水量の増加に注意が必要です。

ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム : 2011 年、2017 年との比較)

貯水量 : Pasak ダム



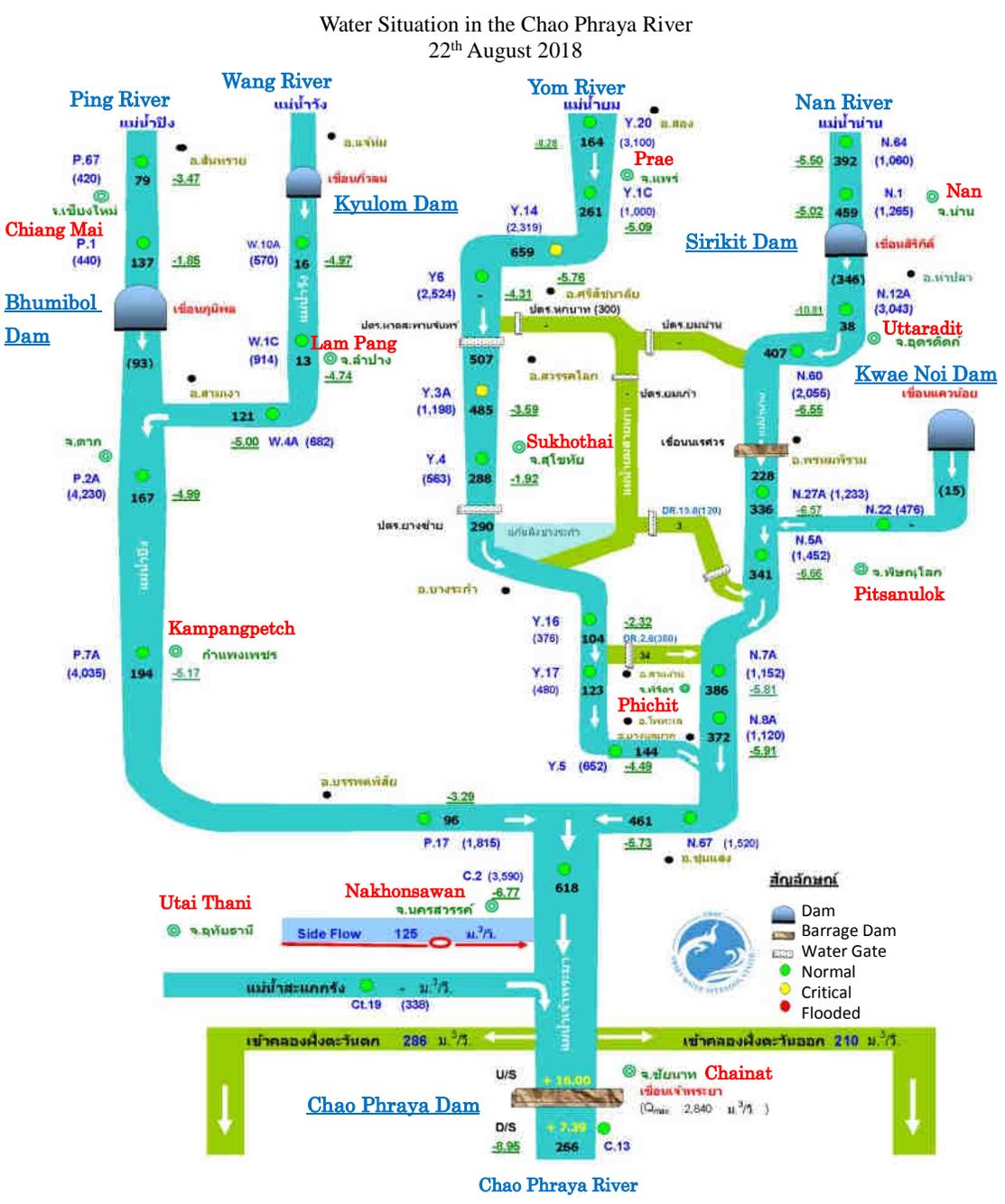
貯水量 : Kwaenoi ダム



Pasak ダム、Kwaenoi ダムともに貯水量は大洪水が発生した 2011 年および昨年の同時期より少なく、貯水容量に対して大きな余裕があります。

チャオプラヤ水系の河川水位 (チャオプラヤダム上流)

Yom 川上流の一部で”Critical (洪水危険水位)”に達していますが、その他の観測地点は”Normal (洪水危険なし)”の状態です。

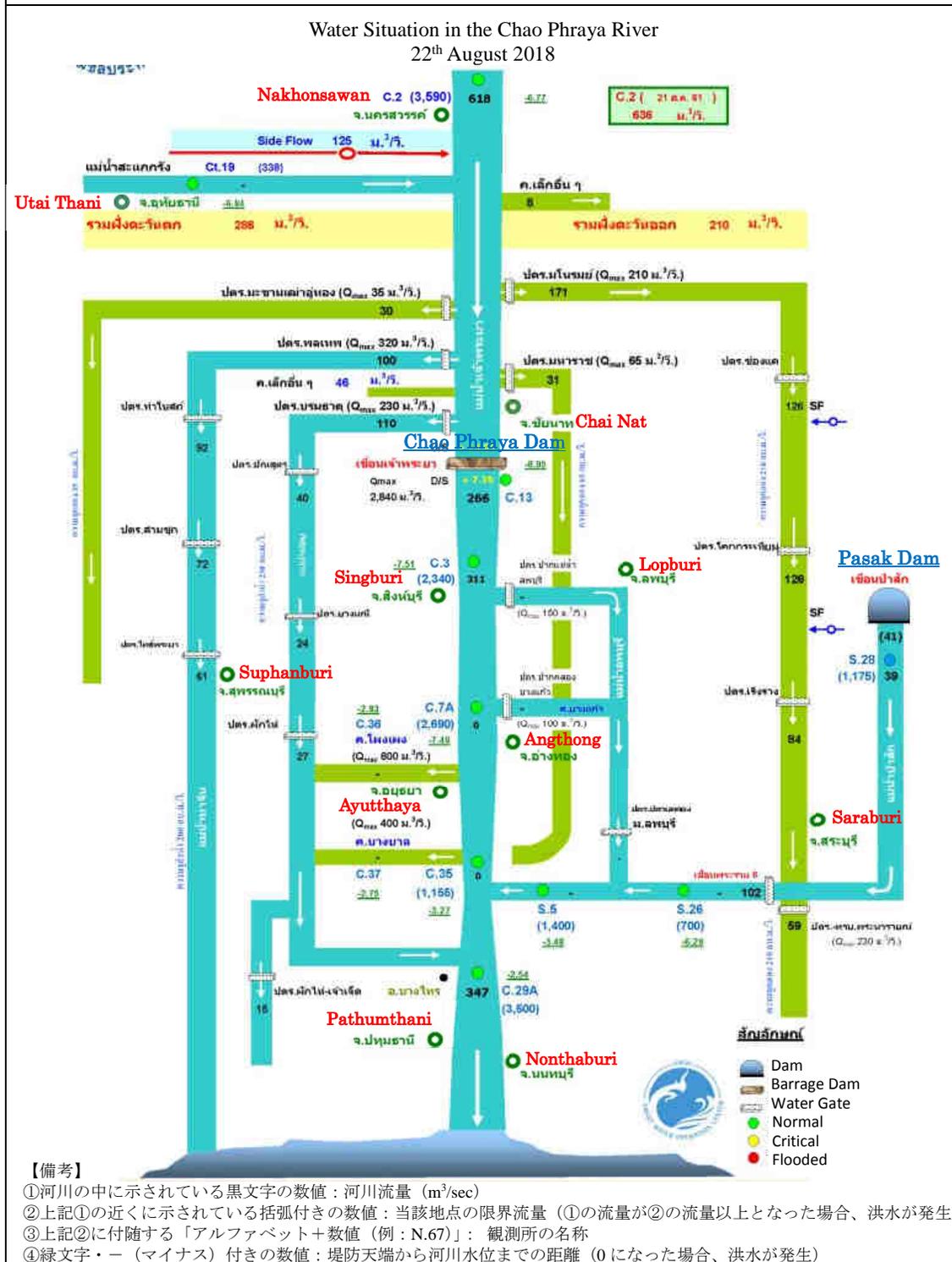


【備考】

- ①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量 (m<sup>3</sup>/sec)
- ②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量 (①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生)
- ③上記②に付随する「アルファベット+数値 (例：N.67)」：観測所の名称
- ④緑文字・- (マイナス) 付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離 (0 になった場合、洪水が発生)

チャオプラヤ水系の河川水位 (チャオプラヤダム下流)

チャオプラヤ川上流からの流入量は少なく、いずれの観測地点も”Normal (洪水危険なし)”の状態です。



**参照**

[http://hdrive.haii.or.th/WaterSituation/latest\\_WaterSituation02.JPG](http://hdrive.haii.or.th/WaterSituation/latest_WaterSituation02.JPG)  
<https://www.sanook.com/news/7482154/>  
<https://www.ryt9.com/s/iq01/2873517>  
<https://www.ryt9.com/s/iq01/2874586>  
<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>  
<https://www.sanook.com/news/7482266/>  
<https://www.sanook.com/news/7483506/>  
<https://www.sanook.com/news/7485014/>  
[http://www.thaiwater.net/DATA/REPORT/php/rid\\_lgraph3.php?dam\\_id=19](http://www.thaiwater.net/DATA/REPORT/php/rid_lgraph3.php?dam_id=19)  
[http://water.rid.go.th/flood/plan\\_new/chaophaya/Chao\\_up.php?cal2=22082018](http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_up.php?cal2=22082018)  
[http://water.rid.go.th/flood/plan\\_new/chaophaya/Chao\\_low.php?cal2=22082018](http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=22082018)

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ  
TEL.03-5296-8920  
<http://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.  
175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road,Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand  
TEL: +66-(0)-2679-5276  
FAX: +66-(0)-2679-5278  
<http://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。  
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2018